第9号様式 その1　　（表）

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）	株式会社立飛リアルエステート 代表取締役社長 村山 正道
事業者番号	A 3 1 9 8

2 報告する事業所等の全体の状況（2019年度の状況）

条例第8条の23第1項報告事業所数	30	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	5,794	kl
条例第8条の23第2項報告事業所数	2	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	49	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	11,513	t

4 評価の対象とする事業所

評価対象事業所	■	義務提出事業所	□	全事業所

5 評価対象事業所における直近5か年度の状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
合計二酸化炭素排出量	12,159.00	12,290.00	12,689.00	12,376.00	11,417.00	t
合計延床面積	238,544.26	235,153.26	223,302.89	195,462.07	211,434.74	㎡
合計原単位	50.97167	52.26378	56.82416	63.31663	53.99774	kg-CO_2/㎡

平均合計二酸化炭素排出量削減率	1.56	%
平均合計原単位改善率	-1.45	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価	——	ランク

（日本産業規格A列4番）

8　実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

9　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□	有	■	無

合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他	特記事項に内容を記載	

10　地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1

11　事業者としての取組

取組方針	地球温暖化防止のため次の点を重視して積極的に省ｴﾈﾙｷﾞｰ対策に取り組むこととする。 ①今後、建物の設備更新にあたっては、地球温暖化対策提言を踏まえた省ｴﾈﾙｷﾞｰ効果のある機器、ｼｽﾃﾑ採用の検討 ②各入居ﾃﾅﾝﾄと一致協力して地球温暖化対策に積極的に取り組む ③自社使用事業所において、各従業員が省ｴﾈﾙｷﾞｰ意識を持ち、ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量削減に努める。

組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A110	外部専門家への相談依頼の実施
	A102	温暖化対策推進担当の配置		

12　特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	105号棟(103・104・105・106-A・106-B)
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 1　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 高松町1-300-16番地 105号棟
事業所等の延床面積	5,231.04 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 171	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 338	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 343	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 64.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	9,037.0	50.80	459.1	0.016	27.1
	その他(灯油)		□	L	1,425.0	36.70	52.3	0.019	3.5
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	629,171.0	9.76	6,140.7	0.489	307.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,652.1		⑮ 338.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,680.0			0.251	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,680.0			0.439	3.8
合　計									⑯ 6.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	107号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-1番地 107号棟
事業所等の延床面積	733.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 83	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 113.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）	□	kg	97.3	50.80	4.9	0.016	0.3
	その他（灯油）	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	170,468.0	9.76	1,663.8	0.489	83.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 1,668.7		⑮ 83.7
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	762.0			0.251	0.2
	公共下水道	□	m^3	762.0			0.439	0.3
合　計								⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	108号棟												
事業所番号	A	3	1	9	8	―	0	0	0	3			
事業所等の所在地	〒	1	9	0	―	0	0	1	5	区市町村名	東京都立川市		
	町名番地以下	泉町935-28番地 108号棟											
事業所等の延床面積	2,256.45	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）												
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　■ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 48	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 93	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 93	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 41.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	191,371.0	9.76	1,867.8	0.489	93.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,867.8		⑮ 93.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,000.0			0.251	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,000.0			0.439	0.4
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	121号棟(121・122)
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 0 5
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 泉町841-7番地 121号棟
事業所等の延床面積	845.20 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　■ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 64	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 74.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他(LPG)		□	kg	82.0	50.80	4.2	0.016	0.2
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	129,781.0	9.97	1,293.9	0.489	63.5
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,298.1		⑮ 63.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,821.0			0.251	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,821.0			0.439	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

121号棟、122号棟テナント工事において、以下の項目によりエネルギー効率化を図った。
「照明器具312台をLEDタイプに更新」

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	136号棟(130・131・132・133・134・135・136・137)
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 0 6
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-30番地 136号棟
事業所等の延床面積	5,060.62 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2019年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 344	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 669	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 672	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 132.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	1,368,444.0	9.76	13,356.0	0.489	669.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 13,356.0		⑮ 669.2
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	5,504.0			0.251	1.4
	公共下水道	□	m^3	5,504.0			0.439	2.4
合　計								⑯ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）		

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

131号棟において、以下の項目によりエネルギー効率化を図った。
「外灯器具（8連水銀灯）2台をLEDタイプに更新」
134号棟において、以下の項目によりエネルギー効率化を図った。
「エアーコンプレッサー（1台）更新」

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	140号棟												
事業所番号	A	3	1	9	8	―	0	0	0	7			
事業所等の所在地	〒	1	9	0	―	0	0	1	5	区市町村名	東京都立川市		
	町名番地以下	泉町841番地1 140号棟											
事業所等の延床面積	11,347.52	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）												
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　■ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 218	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 422	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 422	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 37.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	66,133.7	45.00	2,976.0	0.014	148.4
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	561,448.0	9.76	5,479.7	0.489	274.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 8,455.7		⑮ 423.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	903.0			0.251	0.2
	公共下水道		□	m^3	903.0			0.439	0.4
合計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	141号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 0 8
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町841番地1 141号棟
事業所等の延床面積	2,812.83 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 64	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 125	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 126	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 44.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	256,301.0	9.76	2,501.5	0.489	125.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,501.5		⑮ 125.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,881.0			0.251	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,881.0			0.439	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	142号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 0 9
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町841番地1 142号棟
事業所等の延床面積	494.28 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　■ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 180	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 181	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 364.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	11,495.5	45.00	517.3	0.014	25.8
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	317,280.0	9.76	3,096.7	0.489	155.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 3,613.9		⑮ 180.9
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	2,665.0			0.251	0.7
	公共下水道	□	m^3	2,665.0			0.439	1.2
合　計								⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	143号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 1 0
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 泉町841番地1 143号棟
事業所等の延床面積	188.74 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　■ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 27	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 53	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 53	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 280.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	109,436.0	9.76	1,068.1	0.489	53.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 1,068.1		⑮ 53.5
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	251.0			0.251	0.1
	公共下水道	□	m^3	251.0			0.439	0.1
合　計								⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	立飛ﾋﾞﾙ1号館
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 0 3　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　栄町6-1-1番地立飛ﾋﾞﾙ1号館
事業所等の延床面積	9,404.46 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 234	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 489	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 493	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 51.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	3,033.4	45.00	136.5	0.014	6.8
	その他（灯油）	□	L	54,055.0	36.70	1,983.8	0.019	134.6
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	712,458.0	9.76	6,953.6	0.489	348.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 9,073.9		⑮ 489.8
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	6,869.0			0.251	1.7
	公共下水道	□	m^3	6,869.0			0.439	3.0
合　計								⑯ 4.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

立飛ビル1号館において、以下の項目によりエネルギー効率化を図った。
「7階空調機（室内機5台、室外機3台）更新」

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	立飛ﾋﾞﾙ5号館
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 1 3
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 0 3　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　栄町6-1-3番地立飛ﾋﾞﾙ5号館
事業所等の延床面積	9,766.75 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　■ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 96	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 187	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 187	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 19.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	383,816.0	9.76	3,746.0	0.489	187.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,746.0		⑮ 187.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	410.0			0.251	0.1
	公共下水道		□	m^3	410.0			0.439	0.2
合　計									⑯ 0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

立飛ビル5号館において、以下の項目によりエネルギー効率化を図った。
「1階空調機（室内機4台、室外機4台）更新」

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	立飛ﾋﾞﾙ6号館(6号館・6号館別館)
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 0 3　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　栄町6-1-1番地立飛ﾋﾞﾙ6号館
事業所等の延床面積	4,955.81 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 437	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 848	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 848	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 171.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,735,705.0	9.76	16,940.5	0.489	848.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,940.5		⑮ 848.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,291.0			0.251	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,291.0			0.439	0.6
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	立飛ﾋﾞﾙ7号館(3号館・7号館・P-1・P-2)
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 1 5
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 0 3　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 栄町6-1-1番地立飛ﾋﾞﾙ7号館
事業所等の延床面積	32,931.11 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 394	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 766	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 772	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 23.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,567,064.0	9.76	15,294.5	0.489	766.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,294.5		⑮ 766.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,139.0			0.251	2.3
	公共下水道		□	m^3	9,139.0			0.439	4.0
合　計									⑯ 6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	19号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 1 6
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 0 3　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　栄町6-1-3番地 19号棟
事業所等の延床面積	1,395.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 22	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 43	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 43	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 30.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	89,871.0	9.76	877.1	0.489	43.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 877.1		⑮ 43.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	3.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	501号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 1 7
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-3番地 501号棟
事業所等の延床面積	336.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　■ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 80	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 155	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 155	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 460.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	26,569.5	45.00	1,195.6	0.014	59.6
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	196,669.0	9.76	1,919.5	0.489	96.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 3,115.1		⑮ 155.8
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	1,057.0			0.251	0.3
	公共下水道	□	m^3	1,057.0			0.439	0.5
合　計								⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%	
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	201号棟(201・226・227・229・242・242-A・南門・中央門・ビーチ)
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 5　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 泉町935-27番地 201号棟
事業所等の延床面積	12,787.33 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 608	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,182	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,186	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 92.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	372.0	50.80	18.9	0.016	1.1
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,416,451.0	9.76	23,584.6	0.489	1,181.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 23,603.5		⑮ 1,182.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,815.0			0.251	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,815.0			0.439	2.6
合　計									⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	202号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 1 9
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 泉町935-27番地 202号棟
事業所等の延床面積	15,967.83 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 450	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 876	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 878	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 54.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	89.0	50.80	4.5	0.016	0.3
	その他（灯油）		□	L	1,914.0	36.70	70.2	0.019	4.8
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,781,394.0	9.76	17,386.4	0.489	871.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 17,461.2		⑮ 876.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,070.0			0.251	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,070.0			0.439	1.3
合　計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	205号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 2 1
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 205号棟
事業所等の延床面積	8,330.85 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 290	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 574	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 20	t
	総　計（④=②+③）	④ 594	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 68.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	137.1	50.80	7.0	0.016	0.4
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	522,679.0	9.97	5,211.1	0.489	255.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	650,643.0	9.28	6,038.0	0.489	318.2
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,256.0		⑮ 574.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	29,716.0			0.251	7.5
	公共下水道		□	m^3	29,716.0			0.439	13.0
合　計									⑯ 20.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策			E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	206号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 2 2
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 206号棟
事業所等の延床面積	3,296.02 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 71	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 21.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（軽油）		□	L	481.7	37.70	18.2	0.019	1.2
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	143,641.0	9.97	1,432.1	0.489	70.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,450.3		⑮ 71.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	207号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 2 3
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 207号棟
事業所等の延床面積	8,385.41 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 106	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 207	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 209	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 24.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	423,680.0	9.76	4,135.1	0.489	207.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,135.1		⑮ 207.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,669.0			0.251	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,669.0			0.439	1.6
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	214号棟（214・215・216・217・218）
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 2 5
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 214号棟
事業所等の延床面積	3,225.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 56	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 112	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 112	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 34.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）	□	kg	4,153.0	50.80	211.0	0.016	12.5
	その他（灯油）	□	L	1,205.0	36.70	44.2	0.019	3.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	197,570.0	9.76	1,928.3	0.489	96.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 2,183.5		⑮ 112.1
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	1,338.0			0.251	0.3
	公共下水道	□	m^3	1,338.0			0.439	0.6
合　計								⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	221号棟（221-A・221-B）
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 2 7
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 221号棟
事業所等の延床面積	17,930.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 555	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,095	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,098	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 61.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（軽油）		□	L	529.4	37.70	20.0	0.019	1.4
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	863,690.0	9.97	8,611.0	0.489	422.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	1,058,150.0	9.28	9,819.6	0.489	517.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	316,307.0	9.76	3,087.2	0.489	154.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 21,537.7		⑮ 1,095.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,276.0			0.251	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,701.0			0.439	2.1
合　計									⑮ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	222号棟(222・223・224)
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 2 8
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 222号棟
事業所等の延床面積	8,512.24 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 503	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,043	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 17	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,060	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 122.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	145,914.9	50.80	7,412.5	0.016	437.6
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,239,518.0	9.76	12,097.7	0.489	606.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 19,510.2		⑮ 1,043.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	25,176.0			0.251	6.3
	公共下水道		□	m^3	25,176.0			0.439	11.1
合　計									⑯ 17.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
				E108	高効率照明器具の採用（屋外）
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	232号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 2 9
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 232号棟
事業所等の延床面積	10,200.53 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 204	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 402	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 403	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 39.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	441,834.0	9.97	4,405.1	0.489	216.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	380,528.0	9.28	3,531.3	0.489	186.1
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,936.4		⑮ 402.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,605.0			0.251	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,605.0			0.439	0.7
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	233号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 3 0
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 233号棟
事業所等の延床面積	4,036.85 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 52	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 102	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 25.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	209,264.0	9.76	2,042.4	0.489	102.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,042.4		⑮ 102.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	455.0			0.439	0.2
合　計									⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	236号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 3 1
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 236号棟
事業所等の延床面積	1,459.60 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 39	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 76	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 76	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 52.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	157,136.0	9.76	1,533.6	0.489	76.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,533.6		⑮ 76.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	763.0			0.251	0.2
	公共下水道		□	m^3	763.0			0.439	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	401号棟(401・401-A)
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 3 2
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町935-27番地 401号棟
事業所等の延床面積	1,713.18 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 221	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 443	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 446	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 258.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	28,589.2	50.80	1,452.3	0.016	85.7
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	730,787.0	9.76	7,132.5	0.489	357.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,584.8		⑮ 443.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,116.0			0.251	1.3
	公共下水道		□	m^3	5,116.0			0.439	2.2
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	新立川ビル
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 3 3
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 1　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　高松町3-1-5
事業所等の延床面積	2,973.79 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 87	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 170	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 170	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 57.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	348,438.0	9.76	3,400.8	0.489	170.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,400.8		⑮ 170.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	941.0			0.251	0.2
	公共下水道		□	m^3	941.0			0.439	0.4
合　計									⑮ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	209号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 3 4
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 1 5　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 泉町935-27番地 209号棟
事業所等の延床面積	7,776.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 62	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 62	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 7.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	127,505.0	9.76	1,244.4	0.489	62.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 1,244.4		⑮ 62.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	585.0			0.251	0.1
	公共下水道	□	m^3	585.0			0.439	0.3
合　計								⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E108	高効率照明器具の採用（屋外）
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	アリーナ立川立飛
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 3 5
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　泉町500番-4
事業所等の延床面積	5,988.56 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 84	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 164	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 166	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 27.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	337,314.0	9.76	3,292.2	0.489	164.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 3,292.2		⑮ 164.9
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	2,984.0			0.251	0.7
	公共下水道	□	m^3	2,984.0			0.439	1.3
合　計								⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C806	その他設備の不使用時の停止
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）		

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	立飛ビル2号館
事業所番号	A 3 1 9 8 ー 0 0 3 6
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ー 0 0 0 3　区市町村名　東京都立川市 町名番地以下　栄町6-1-3番地立飛ﾋﾞﾙ2号館
事業所等の延床面積	8,758.98 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 177	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 345	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 346	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 39.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	706,782.0	9.76	6,898.2	0.489	345.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,898.2		⑮ 345.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,598.0			0.251	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,598.0			0.439	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）		

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	208号棟
事業所番号	A 3 1 9 8 ― 0 0 3 7
事業所等の所在地	〒 1 9 0 ― 0 0 1 5　区市町村名 東京都立川市 町名番地以下 泉町935-27番地 208号棟
事業所等の延床面積	3,916.85 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 低炭素電力の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2019年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 75	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 75	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 19.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（軽油）		□	L	755.0	37.70	28.5	0.019	2.0
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	150,775.0	9.76	1,471.6	0.489	73.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,500.0		⑮ 75.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	247.0			0.251	0.1
	公共下水道		□	m^3	247.0			0.439	0.1
合　計									⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E108	高効率照明器具の採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項